

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金  
令和元年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 令和元年12月4日(水) 10時30分から11時45分
2. 開催場所 福井大学アカデミーホール集会室(福井市文京3丁目9番1号)
3. 出席者 理事総数 12名  
出席理事 8名  
理事長 細谷龍平  
理事 小谷孝一, 黒原繁夫, 高比良博則, 田中幸治, 花島 信, 平塚幹夫, 見谷頼貞  
監事総数 2名  
出席監事 2名  
監事 堂裕司, 馬來田善準  
陪席者 2名  
岡田正史(福井大学学務部長), 酒江夏希(福井県総務部大学私学課主査)

4. 議 題

審議事項

- 第1号議案 グリフィス来日150周年に向けての諸対策について(公益認定審査委員会の結果を含む)
- 第2号議案 資産の運用について
- 第3号議案 評議員候補者の選任について
- 第4号議案 第2回臨時評議員会決議の省略について
- その他

5. 定足数の確認

理事総数12名中8名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

第1号議案 グリフィス来日150周年に向けての諸対策について(公益認定審査委員会の結果を含む)

理事長から、基本財産を取崩している基金の現状及び今後の対策について説明があった。グリフィスの広報普及活動の一環として、現在FBCに委託してテレビ映像を制作中であり、来年4月に放映を予定していること、ラトガース大学関係者を招へいし5月に開催予定の国際シンポジウムでも上映し、ウェブサイト上での映像公開やスチル画像の使用などを予定している旨報告があった。

続いて、当基金が直接事業を実施するために、定款の改正を公益認定審査委員会に申請していたところ、最近承認された旨併せて報告があった。

また、昨年ウェブサイトをリニューアルし、会員登録者にメルマガを送付してきているが、今後はFacebookでの広報を立ち上げる。関連団体との連携協力もさらに進めていきたい。同時に、基金の事業基盤を強化するための募金活動を、財界や企業、および個人も対象に行なっていきたい旨説明があり、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

第2号議案 資産の運用について

理事長から、保有資産である投資有価証券が翌年1月と5月に償還を迎えるが、昨今の低金利により、前回同様の国債や地方債の運用では利率が極めて低く運用益がほとんど期待できなくなっている。今後元本の回収はこれまでの規定による確実なものだけに限らず、最大限確保できるものに投資対象を広げるために、資金運用規程と資金運用方針を改正したい旨説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、翌年償還が来るものについては、当面は社債で運用することを基本に、要すればつなぎで銀行預

金を活用しながら、適当な社債の商品が販売される機を捉えて移行させることとし、具体的には理事長に一任することを全員異議なく承認した。

第3号議案 評議員候補者の選任について

理事長から、3名の評議員候補者に関する議案説明があった。伊藤恵造氏の後任として松田健志氏を、櫻本宏氏の後任として近松茂弘氏を、堀田良里氏の後任として赤澤孝氏をそれぞれ評議員候補者として選任することを全員異議なく承認した。

第4号議案 第2回臨時評議員会決議の省略について

理事長から、第3号議案にて承認された評議員候補者の選任に係る評議員会を定款第23条の決議の省略の方法により行いたい旨説明があり、審議の結果、原案通り全員異議なくこれを承認した。

以上をもって議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事長及び監事は次のとおり記名押印する。

令和元年12月4日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事（理事長）

細 谷 龍 平

監 事

堂 裕 司

監 事

馬 來 田 善 準